

発見・通学路の危険と安全

呉市立内海小学校 P T A 校外指導部

去る1月25日(水),1月の参観日と兼ねて「通学路の危険と安全」について考えるワークショップを,次のようなねらいで行いました。

不審者・変質者から子どもを守る 保護者自身の防犯意識の向上を図る

当日は,多数の皆様にご参加いただくとともに,後日学校へ届けられた気づきも多く,あらためて児童の安全確保に対する保護者のみなさんの関心の高さを感じました。



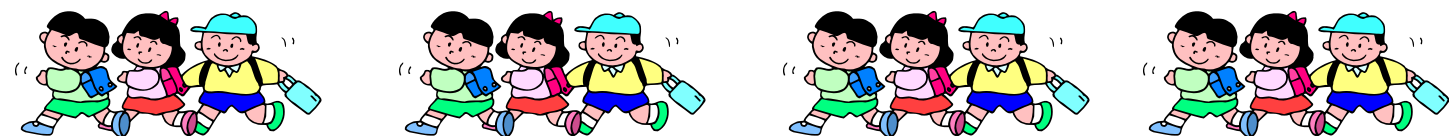
このワークショップをきっかけに,

学校から配付されたプリント「危険な場所はこんなところ～大切な子どもを守るために～」

を見ながら,あらためて家の周りを歩いてみてくださいね。

【安全チェックシート】 ……ちょっとチェックしてみましょう……

	チェック項目	はい	いいえ	分からない
1	誰と一緒に帰っているか知っている(一人で歩く区間はどこからどこまでか)			
2	どこを通過して帰っているか知っている			
3	どんな様子で帰っているか知っている			
4	どんな危険な箇所があるか知っている			
5	遅くても,5時までには家に帰っている			
6	我が子の今日の服装を知っている			
7	防犯ブザーは鳴るかどうかのチェックを定期的に行っている			
8	すぐに鳴らせる場所につけて,子どもが鳴らせる			
9	我が子は「助けて～!」と,大きな声で助けを呼べる			
10	我が子は,自宅(親の携帯電話)の電話番号,警察の電話番号を知っている			
11	車等に「PTA安全パトロール」を貼っている			
12	子どもは,「子ども110番の家」を知っている			
13	「守るネット」に登録している			
14	親子でいっしょに通学路を歩いたことがある			



ちょっと一言

今までは交通安全の面を考えて通学路を決めておられた方が多いようでしたが,「不審者から子どもを守る」という視点から,もう一度通学路の見直しをしてみましょう。

学校のきまりでは,5時には家に帰るようになっています。仕事の都合で親の帰りが遅いので,もっと遅くまで遊んでいてもかまわないだろう,という声も聞かれます。ですが,5時をすぎると人通りも減り,危険度も増しできます。親子でしっかり話し合ってください。

我が子は「助けて～!」と大きな声で助けが呼べますか?いざとなったら,意外と出ないもの。親子で練習してみましょう。



できることなら,下校時刻(3時ごろから4時過ぎくらい)に,家の外に出て,「お帰り。」の声かけとともに子どもの安全を見守って行きましょう。

子どもたちが身の危険を感じたら,助けを求めて駆け込める場所が「子ども110番の家」です。コアラの旗やステッカーが目印です。親子で場所を確認しておくといいですね。

守るネットは,不審者情報を携帯電話に配信するサービスです。

空メールを次のアドレス(ans@kure-mamoru.net)に送信して,返信されるメールから登録します。

ワークショップ終了後,校外指導部で保護者のみなさんから寄せられた危険箇所等を「安全マップ」にまとめさせていただきましたので親子で確かめてみてください。マップの中の「危険マーク」は次のような場所を示しています。

……安全マップの危険マーク……



子どもたちが毎日登下校で歩く道の周辺には,さまざまな危険が潜んでいます。何が危険なのか,どうして危険なのか,どうすれば危険から身を守れるのか。一緒に考えていきましょう。